

学校 教育 目標	○互いを認め、高めあう学びを大切にします。 【知】					
	○自他の生命を尊重し、思いやる心を大切にします。【徳・体】					
	○自らの生き方を考え、実践する力を大切にします。【公・開】					
学校 概要	創立 41 周年	学校長	鈴木 拓哉	副校長	松本 麻理子	2 学期制
	一般学級: 16	個別支援学級: 2	児童生徒数: 575 人			
主な関係校: 名瀬小学校 川上北小学校 川上小学校 緑園東小学校						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語活動によるコミュニケーション能力 自分の身を自分で守る力 地域の一員として社会に貢献する力	名瀬中学校 名瀬小学校 川上北小学校	互いに認め合い、主体的に地域・ひと・もの・こととかがわり、協働する力やコミュニケーション能力を高めようとする子ども。 ○小中合同授業研究会を通じ、お互いの良き・強みの検証による授業方の向上と児童生徒の特徴の把握。 ○体育的行事や文化的行事、子ども会議での交流、職員間での情報の交換・共有を通じた中一ギャップの軽減。 ○コミュニケーションの基本となるあいさつ運動の活性化。

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生徒の特性の理解に努め、きめ細やかな指導を継続して学校が生き生きと過ごせる場となるよう努めます。 職員同士も含め、コミュニケーションの基本となるあいさつ運動の活性化に努めます。 保健指導や災害教育を通じて、自分の健康・安全を自分で守れる生徒の育成に努めます。 地域活動への積極的な参加を促し、地域の一員としての意識と貢献できる力を育てます。 「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①ブロック内の各学校が輪番で担当する授業研究会や各研修会を通じて児童生徒の特性を把握することでさらなる授業力の向上を図る。②今までの授業の形態にとらわれることなく、発表や学び合いを計画的に取り入れ、発信する力やコミュニケーション能力の向上を図る。
担当 学習指導部	
豊かな心	①道徳の授業を工夫し、個々の強みを生かして、担任するクラスだけでなく、同じ授業を他のクラスでも行うローテーションを取り入れたい。②お互いが気持ちよく感じられるような自然な挨拶ができるよう、さらに「あいさつ運動」を推進する。
担当 道徳係・生徒会指導部	
健康な心身	①「自分の身は自分で守る」を生徒に意識させ、体調に応じた活動やケガを未然に防ぐストレッチなどとともに、不審者への対策等など様々な危険回避の方策を指導する。②食べることの重要性和健康維持、体づくりのための食事の意義をさらに意識させる。
担当 保健安全	
特別支援教育	①必要な生徒にとっては「ないと困る」支援、どの生徒にとっても「あると便利な」支援として授業や教室環境のユニバーサルデザイン化を図る。②担当者だけでなくすべての職員が個別支援級に積極的にかかわる体制を構築する。
担当 特別支援教育・食教育	
地域との連携	①50周年に向けて、地域の協力に甘えることなく職員・生徒が今まで以上に地域に関わり、地域の要望に応えられるよう意識づける。②地域の特色である福祉の分野でも施設や人とのかがわりを強める。
担当 教務 生徒指導専任	
生徒指導	①子どもの変化に気づく感性を磨き、教育相談のさらなる充実を図る。「需要と共感」と「迎合」の違いをしっかりとらえられる教師力の育成)②問題行動に対する迅速な対応と一貫した指導、深い生徒理解による多面的な指導ができるような職員体制を構築する。
担当 生徒指導部	
キャリア教育	①地域の協力のもと、生徒が将来の職業選択の際の選択の幅を広げられるよう職業講話、職業体験学習をさらに充実させる。②生徒が自分を見つめ、卒業後についてしっかりと考えさせ、事業所の情報や進学希望者には進学したいと真に思える高校の選択のための情報を提供する。
担当 特別活動・総合	
安全管理	①危機管理マニュアルの確認を通して、最小限しなければならないことを把握し、予防的視点をもって危険個所の発見や早期に対応する力を養う。②何もなかったからよしとするのではなく、生徒を取り巻く危険因子を確実に共有する。
担当 保健安全・用務	
いじめへの対応	①引き続き週に一度、生徒指導の打ち合わせを行い、問題行動を中心に早期発見と情報共有、早期対応を図る。②いじめ防止対策委員会を定期的に月1回以上、必要に応じて臨時にも開催し、いじめへの対処と解消状況について確認していく。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①職員の関係性を良好に保ち、何でも相談できる職員室の雰囲気をつくる。②積極的に他の職員の授業を参観し、個人の成長に生かすとともに名瀬中学校の強みとして全体で共有する。③積極的に声をかけ、職員がオンとオフの切り替えを意識的に行うことで心身の健康を増進する。
担当 教務部	